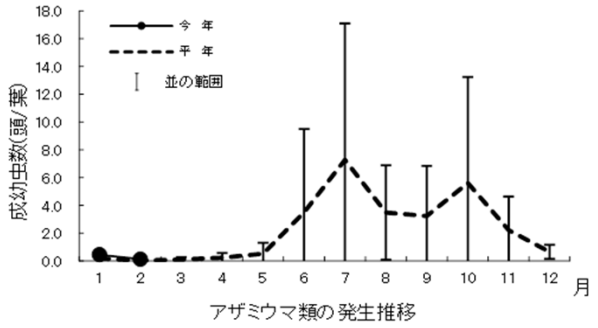
平成　29 年度

作物	マンゴー	地域	沖縄群島
病害虫名	① チャノキイロアザミウマ		
2 月の発生量（現況）	並		
3 月の増減傾向	→		
増減傾向の根拠	成虫・幼虫数の平年の発生推移、トラップの誘殺虫数の平年の発生推移から、２月と同程度の発生量と考えられる。		

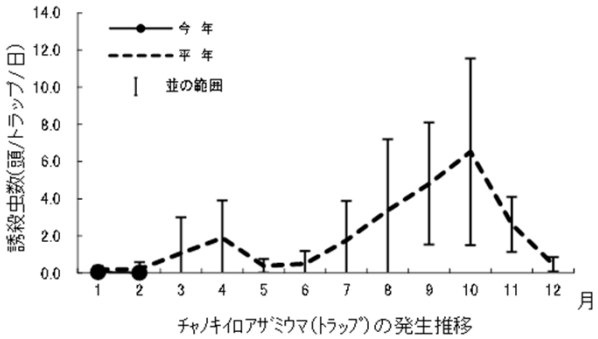
発生量の根拠（調査結果）

・ 2月下旬の調査の結果、葉当たり成虫・幼虫数は0.1頭（前年0.1頭未満、平年0.1頭未満）と平年並であったが、一部施設で多発した。

・ 2月の黄色粘着トラップへの誘殺虫数（頭/トラップ/日）は0.1頭未満（前年０頭、平年0.2頭）と平年並であった。



アザミウマ類の発生推移



チャノキイロアザミウマ(トラップ)の発生推移

防除のポイント

・開花期以降は本種が増加しやすいので、早期発見・防除に努める。

・開花中に薬剤散布を行う場合は、受粉昆虫に影響のない薬剤を選択する。

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

・キダチコミカンソウなど、発生源となる施設内外の雑草を除去する。

・不要な新梢は、施設外に除去する。

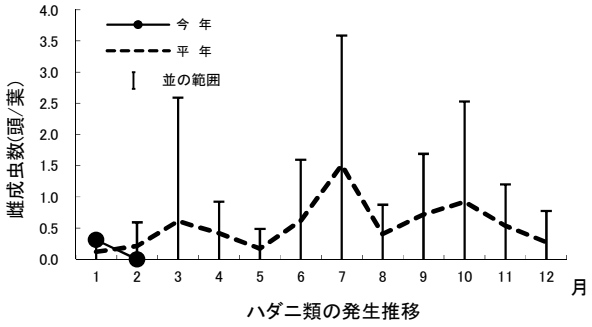
・平成29年度病害虫発生予報第５号（平成29年７月27日付）コラム参照。

平成　29 年度

作物	マンゴー	地域	沖縄群島
病害虫名	② ハダニ類		
2 月の発生量（現況）	（発生なし）並		
3 月の増減傾向	↗		
増減傾向の根拠	雌成虫数の平年の発生推移から、２月より発生量は増加すると考えられる。		

発生量の根拠（調査結果）

・ 2月中旬の調査の結果、葉当たり雌成虫数は０頭（前年1.0頭、平年0.2頭）と平年並であった。



ハダニ類の発生推移

防除のポイント

・薬剤抵抗性を発達させやすいので、同系統薬剤の連用を避ける。

・平成29年度病害虫発生予報第５号（平成29年７月27日付）コラム参照。

ハダニの寄生による葉のかすれ症状